

# 脂質代謝異常と脂肪性肝疾患の接点

## MASLDと中性脂肪・レムナントコレステロールとの関係を読み解く

日時 2026年 **1**月 **21**日(水) **12:30**~13:00  
**18:30**~19:00

※第1部、第2部は同じ内容をご講演いただきます。  
※講演時間中は巻き戻し再生が可能です。(詳細は裏面)

演者

愛媛大学大学院医学系研究科 消化器・内分泌・代謝内科学

教授 **日浅 陽一** 先生

### 講演概要

脂肪性肝疾患は、我が国の成人の4分の1以上に認められ、現在では最も頻度の高い肝疾患となっています。なかでも、脂質異常症、特に高中性脂肪(TG)血症と深く関連するMASLD(代謝機能障害関連脂肪性肝疾患)は、肝関連イベントのリスクが高いだけでなく、動脈硬化にも関与し、心血管イベントの発症リスクが高い病態としても注目されています。

本講演では、脂肪性肝疾患と動脈硬化性疾患を結びつける鍵として、中性脂肪やレムナントコレステロールに焦点を当て、MASLDを取り巻く最新の知見を交えながら解説いたします。

視聴方法は裏面をご確認ください。

### 【事前質問の受付について】

- \*当日の講演開始まで、右の二次元コードから事前質問を受け付けています。
- \*演者の先生に聞いてみたい質問等がありましたら、いつでもご入力ください。
- \*時間の都合などで、すべてのご質問にお答えできない場合もございます。
- \*後日、弊社MRを通じて回答させていただく場合もございます。

### 事前質問入力用URL

※視聴はできません。  
(裏面をご確認ください)

